



海の道むなかた館年報Ⅱ

平成 25 年度の報告

～郷土文化学習交流館年報～



2014

宗像市教育委員会

海の道

Sea Road

いにしえより、
人や物が絶え間なく往来した玄界灘。
その海を舞台に、
悠久の歴史を刻んできた宗像。
この地に通じるさまざまな道を切り口に、
ふるさとの歩みをみていきます。

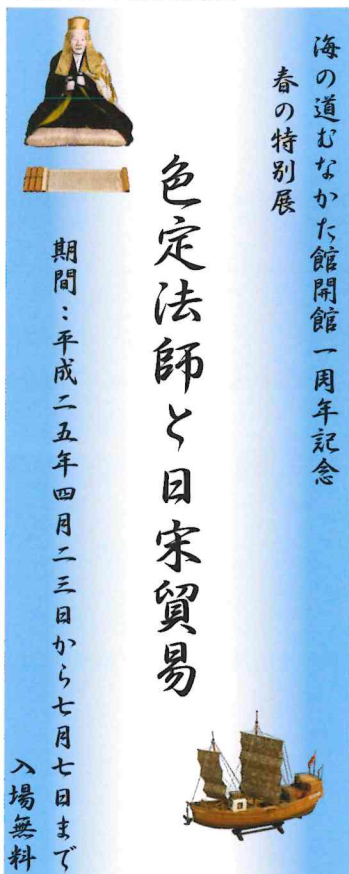


[illegible]



常設展示室：円形に配置された常設展示ブースは市内出土遺物などを時代順に展示し、宗像の歴史を解説している。中央の企画展示ブースは通常時、国登録有形文化財である「玄界灘の漁撈具及び船大工道具」を中心に展示を行っている。特別展開催時には、企画展示ブースも使用し展示を行う。

平成 25 年度特別展



春の特別展：「色定法師と日宋貿易」

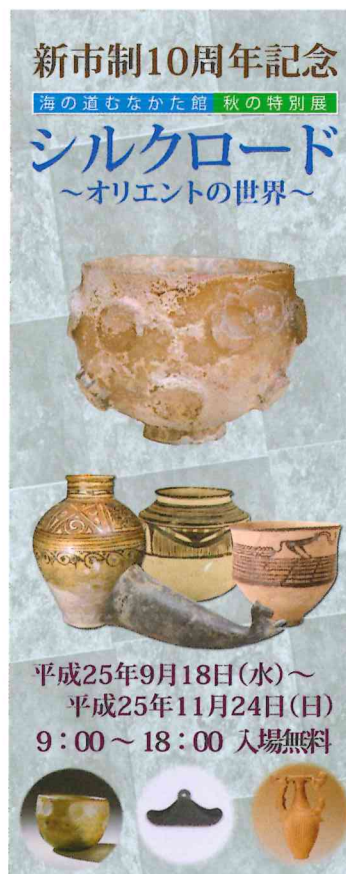
平成 25 年 4 月 23 日～7 月 7 日

資料借用機関：福岡市博物館、福岡市埋蔵文化財センター、福津市教育委員会、興聖寺、宗像大社

特別展示室ウォールケース展示状況



特別展示室：通常時の特別展示室は、「沖ノ島祭祀前夜」として、市内にある国指定史跡田熊石畑遺跡から出土した国指定重要文化財である武器形青銅器 15 本を中心に展示を行っている。展示ケースはエアタイトになっており、常時温湿度管理を行っている。



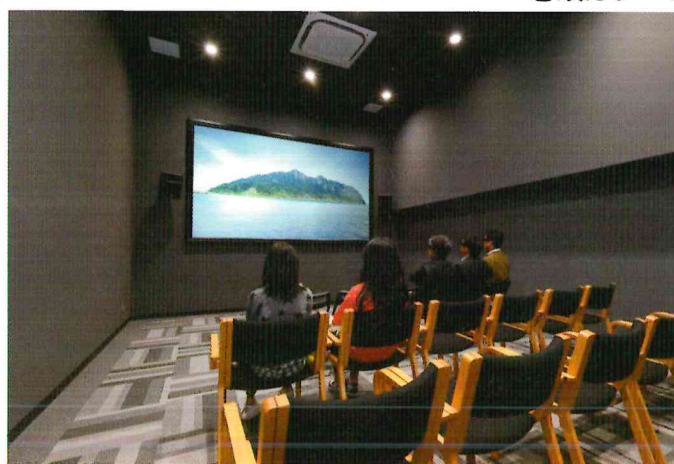
秋の特別展：「シルクロード～オリエントの世界～」

平成 25 年 9 月 18 日～11 月 24 日

資料借用機関：九州国立博物館、岡山市立オリエント美術館、福岡市埋蔵文化財センター、太宰府市教育委員会、福津市教育委員会、宗像大社

世界遺産ガイダンス機能 ガイダンス施設

本館は、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進のためのガイダンス施設でもあり、沖ノ島祭祀遺跡の解説、そして通常では見る事が出来ない沖ノ島島内の様子や、沖ノ島の歴史を物語りでわかりやすく紹介するアニメを3D映像で放映している。



3D シアター



3D モニター

歴史観光ツアー

「宗像大社秋季大祭」の前月である9月を世界遺産強調月間「オガチマンス」とし、観光客に対し土・日曜日に歴史観光ボランティアによる辺津宮境内の無料ガイドなどを行った。加えて、市のルックルック講座で、世界遺産候補の構成資産を巡るバスツアーを開催した。



宗像大社辺津宮本殿・拝殿の解説



宗像大社辺津宮高宮祭場の解説

体験学習機能

体験学習

「火起こし」・「勾玉づくり」・「土笛づくり」・「古銭铸造」・「土器パズル」などの古代体験のほか、株式会社テムザックの協力により「ロボリア」・「番竜」のロボット操作体験を行っている。

巻頭カラー 3



「勾玉づくり」体験



「火起こし」体験



「土器パズル」体験

夏休み特別事業

トヨタ自動車九州モノづくり教室や県立宗像高等学校電気物理部と協働し「ホバークラフトづくり」や電気工作（メカメⅢ・しゃべる貯金箱）を開催。



「ホバークラフトづくり」体験



人も乗ることが出来るホバークラフト

行啓

皇太子殿下行啓

平成 25 年 7 月 4 日に皇太子殿下が展示室と市内南郷小学校 6 年生のまが玉づくり、土笛づくりの体験学習をご視察されました。



皇太子殿下御着

交流機能



開館 1 周年記念イベント

開館 1 周年記念事業

平成 25 年 4 月 26 日に正面玄関前において、記念セレモニーを実施、市内中学校の吹奏楽部の演奏や、バルーンリリース、餅つきなどを行ったほか、火おこしコンテストや郷土料理の振舞い、西谷正館長、吉永正春氏（戦国歴史研究家）による記念講演なども開催。

むななたみんなの山笠

平成 25 年 7 月 17 日から 7 月 21 日の 5 日間、新市制 10 周年を記念して、旧宗像市、旧玄海町、旧大島村において継承されている山笠を本館前駐車場に展示し、宗像大社で昇き山を行った。



山笠宗像大社参拝



正月イベント「獅子舞」披露

正月イベント

正月の遊び体験（コマ回し、羽根突き、凧絵付け）や「郷土料理（だぶ）」・「ぜんざい」の振舞、獅子舞などを行った。

はじめに

私たち「海の道むなかた館」は、宗像市民はもとより市外の皆さんからも熱いご期待をいただき、平成24年4月28日に開館いたしました。

宗像市は、海と山と田畑という豊かな資源に恵まれ、ここに生きる人びとのコミュニティが原始・古代から現代まで、たゆまぬ歴史を刻んできました。そのような歴史の文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。

当館では、それら貴重な歴史遺産あるいは文化財を、何よりもまず次世代に守り伝えるとともに、日常的に調査・研究を行っています。そして、その成果を常設ならびに特別・企画の展示や、定期もしくは臨時の講座を通じて市民のみなさんの関心を高め、かつ楽しんでいただくよう心がけて参りました。

また、未来をになう子供たちに、楽しみながら郷土の歴史や文化が学べるように、勾玉づくりをはじめとした種々の古代体験にも力を入れています。そのほかロボット工作などの先端技術の体験も用意しています。

このように、博物館としての機能を充実させる一方、宗像市が福津市や福岡県とともに推進している、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録活動の拠点施設として、そのガイダンス機能とくに3Dシアターは好評を博しています。

さらに、年間四季折り折りに、各種のイベントを実施し、市内外の皆さんの交流の場としても活用されています。

宗像大社は宗像市の歴史にとって欠くことができない存在であります。宗像大社の北側に隣接しているという地の利からも、一体的な発展を願っています。

開館以来2年間の当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの方がたに親しまれ、楽しまれたことを実感いたしますとともに、地域学芸員のみなさんの献身的なボランティア活動に頭が下がる思いがいたします。

私たち館員一同は一丸となって、つねに新しく、また、理想的な博物館像を模索しながら、市民の皆さんのご期待にそえるよう、さらに努力を積み重ねて参ります。

私たちの活動に対しまして、市内外の皆さんにいっそうのご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

平成26年7月15日

海の道むなかた館

館長 西谷 正

目 次

1. 海の道むなかた館の概要

- (1) 建設にいたる経緯・・・・・・・・・・1
- (2) 館の目的（機能）・・・・・・・・・・2
- (3) 館の利用案内・・・・・・・・・・2
- (4) 館の主要施設概要・・・・・・・・・・3

2. 管理運営体制

- (1) 組織・・・・・・・・・・4
- (2) 郷土文化学習交流館協議会委員・・5
- (3) 平成25年度決算・・・・・・・・・・6
- (4) 郷土文化学習交流館建物概要・・6

3. 展示

- (1) 常設展示・・・・・・・・・・7
- (2) 特別展示・・・・・・・・・・8
- (3) 企画展示・・・・・・・・・・9
- (4) 3Dシアター・・・・・・・・・・10
- (5) 写真パネル展・・・・・・・・・・11

4. 体験学習

- (1) 古代体験学習・・・・・・・・・・12
- (2) 特別体験学習・・・・・・・・・・13

5. 講座

- (1) 館長講座・・・・・・・・・・14
- (2) 海の道むなかた館
開館一周年記念講演・・・・・・・・15
- (3) 宗像市合併十周年記念
秋の特別展記念講演・・・・・・・・15
- (4) 地域学芸員養成講座（初級）・・15
- (5) 西谷館長ギャラリートーク・・16

6. 団体入館

- (1) 旅行会社によるツアー・・・・・・・・17
- (2) 特別展に伴う周辺ツアー・・・・・・・・18
- (3) 世界遺産登録推進活動に伴う
ルックルック講座及び周辺ツアー・・18

7. 各種イベント

- (1) 開館一周年記念イベント・・・・・・・・19
- (2) 田熊石畑遺跡歴史公園
プレオープン・・・・・・・・19
- (3) むなかたみんなの山笠・・・・・・・・19
- (4) 夏休み特別事業・・・・・・・・19
- (5) 宗像大社みあれ祭前夜祭・・・・・・・・19
- (6) 道の駅むなかた
495まつり参加・・・・・・・・19
- (7) 宗像文化サークルコラボ講座・・19
- (8) 福岡県立少年自然の家「玄海の家」
玄海わくわくフェスタ参加・・・・・・・・19
- (9) 正月イベント・・・・・・・・20
- (10) ミュージアムコンサート・・20
- (11) 宗像ユリックス
アウトリーチコンサート・・21

8. 利用状況

- (1) 月別入館者数・・・・・・・・22
- (2) 学校団体入館者数・・・・・・・・22

9. 参考資料

- (1) 条例・・・・・・・・23
- (2) 規則・・・・・・・・24
- (3) 館内案内図・・・・・・・・30
- (4) 年間スケジュール・・・・・・・・32

1. 海の道むなかた館の概要

(1) 建設から現在にいたる経緯

郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）は、玄海文化センター（アクシス玄海）という多目的な文化施設を改修することで、生まれ変わった施設である。アクシス玄海は、平成4年に開館し、宗像大社に近接し、多くの集客があった。その後、平成8年には、施設の一部を観光物産館として改修し、地産地消をモットーに地元の魚介類、農産物の直売所として、集客を誇った。その後、平成20年「道の駅むなかた」のオープンにより、物産館の機能は移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることになった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月31日までは、地元の田島コミュニティ協議会が管理運営にたずさわっていた。

平成22年7月に宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

なお、平成25年度は西館の一部改修と館周辺整備を行った。

(沿革)

平成4年5月	玄海文化センター（アクシス玄海）開館
平成20年6月	玄海文化センター（アクシス玄海）劣化調査の着手
10月	玄海文化センター（アクシス玄海）劣化調査の完了
平成21年9月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事設計委託の着手 宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・計画策定業務委託の着手
11月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事設計委託の完了
平成22年1月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事の着工
3月	玄海文化センター（アクシス玄海）屋根改修工事の竣工
5月	パブリックコメントの実施
7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・計画の策定
9月	郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
12月	アクシス玄海トイレ改修工事の着工
平成23年3月	郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了 アクシス玄海トイレ改修工事の竣工
6月	地域学芸員養成講座（初級）の開講
7月	郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
8月	郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
11月	地域学芸員養成講座（初級）の開講
12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
平成24年3月	郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）
平成25年5月	海の道むなかた館西館改修外工事の着工
6月	海の道むなかた館西館改修外工事の竣工
7月	海の道むなかた館周辺整備工事の着工
平成26年3月	海の道むなかた館周辺整備工事の竣工

(2) 館の目的（機能）

「宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画」では、館の理念を三つ掲げる。

①歴史文化の継承のための中核施設

②市民と協働し、連携する地域還元型の施設

③市域の自然や歴史文化を結ぶコア施設

これら三つの館の理念を受け、4つの機能を軸にして、館の運営を行う。

【博物館機能】

「海の道むなかた」というテーマのもとに、玄界灘の玄関口として、古代から大陸文化との交流の窓口になった宗像について、歴史の歩みをひもといていく展示構成である。

常設展示施設（旧石器時代から近世まで）、企画展示ブース、特別展示施設を通じて、宗像の歴史の歩みをわかりやすく解説する。

【世界遺産ガイダンス機能】

平成21年1月にユネスコ世界遺産の暫定リストに記載された「宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンス機能として、3Dシアター、3D解説用モニター、展示などを利用し解説する。

【体験学習機能】

体験学習室を中心に、古代体験メニュー（火おこし、勾玉づくり、土笛・土器づくり、古銭鑄造）を揃え、小学生や親子を中心に体験学習を実施する。

【交流機能】

過去・現在・未来をつなぐコンセプトとして、「ものづくり」を提唱。過去のものづくりとして、歴史的な道具の変遷（常設展示等）、現在・未来については、ロボットの進化（株式会社テムザック）やクルマづくり（トヨタ自動車九州株式会社）などを展示解説する。また、喫茶コー

ナーとして、「SHOP 海の道」を営業し、エントランスには休憩スペースを設ける。

なお、歴史文化の中核施設としての位置づけから、宗像遺産のネットワーク化を図り、現在整備中の国史跡田熊石畑遺跡や装飾古墳で有名な桜京古墳をはじめ、宗像大社、鎮国寺との連携を密にした事業を展開する。

さらに、「道の駅むなかた」との連携をはじめ、観光プラットフォームの構築に向け、観光事業との一体的な事業を実施する。

(3) 館の利用案内

○開館時間

午前9時から午後6時まで

（ただし、宗像市教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更することができる。）

○休館日

月曜日

（月曜日が祝日に当たるときは、その翌平日）

12月29日から翌年1月3日まで

（ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更することができる。）

○入館料

無料

（ただし、特別展示等において有料となる場合もある。）

○交通の案内

●車で

九州自動車道若宮インターから約20分
古賀インターから約25分

●公共交通機関で

西鉄バス「JR 東郷駅前」バス停より
宗像大社経由・神湊波止場または
光陽台6丁目行きバス（約20分）
宗像大社前下車

(4) 館の主要施設概要

郷土文化学習交流館		
施設名	面積	摘要
【1階：展示】		
風除室	33 m ²	ホール内への外気の進入を防ぐ
交流係事務室	70 m ²	総合案内、交流係及び世界遺産登録推進室事務室
ホール	397 m ²	S H O P 海の道、世界遺産登録推進活動紹介
ロッカー室	10 m ²	来館者用ロッカー
常設展示室	386 m ²	宗像の歴史展示（通史）、世界遺産関係展示、企画展示
重要文化財展示室	53 m ²	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財を展示
荷解室	25 m ²	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きを行う
前室	14 m ²	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らす
重要文化財収蔵庫	25 m ²	重要文化財等の収蔵
3Dシアター	33 m ²	沖ノ島紹介3Dシアター
ボンベ室	8 m ²	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244 m ²	宗像地域の自然、歴史、文化等を活用した体験学習等実施
土器復元室	42 m ²	埋蔵文化財復元作業等を行う
倉庫	25 m ²	体験学習関係（勾玉作り、土笛作り等）道具・材料の収納
トイレ	77 m ²	男女トイレ、多目的トイレ
【1階：図書館・講義室】		
宗像市民図書館	423 m ²	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を充実（深田分館）
第二展示室	110 m ²	企画展示や絵画展示を行う
講義室	134 m ²	文化財講座及び世界遺産推進等に関する講座等の開催
館長室	33 m ²	館長室
文化財係事務室	50 m ²	文化財の照会等の文化財係事務室
清掃員控室	15 m ²	清掃員の控室兼休憩室
埋蔵文化財整理室	100 m ²	文化財整理作業
ボランティア控室	59 m ²	地域学芸員等のボランティア活動スペース
授乳室	3 m ²	図書館横授乳室
トイレ	40 m ²	図書館横トイレ
【2階】		
図書整理室	96 m ²	（深田分館）
図書準備室	69 m ²	（深田分館）
埋蔵文化財関係書庫	69 m ²	酒井文庫、文化財報告書等の収蔵
郷土資料関係倉庫	31 m ²	市史編纂関係資料等の収蔵
【地階：収蔵庫】		
収蔵庫	367 m ²	文化財調査出土品等の収蔵
収蔵庫	41 m ²	文化財調査出土品等の収蔵
機械室	25 m ²	ホール用空調設備機器設置
倉庫	10 m ²	文化財関係書類等保管
収蔵庫	17 m ²	文化財調査出土品等の収蔵

（平成26年3月末現在）

2. 管理運営体制

(1) 組織

1. 平成 25 年度 館の機構

館長 西谷 正
事務局長 立石 実
市民協働・環境部 郷土文化交流課
課長 清水 比呂之
参事 衣笠 哲哉

交流係（博物館事業業務）

係長 衣笠 哲哉（参事兼任）
主査 判田 博明
主任主事 三好 典嗣
技師 沖田 正大（～9月30日）
技師 坂本 雄介

文化財係（文化財事業業務）

係長 安部 裕久
企画主査 白木 英敏
主任技師 山田 広幸
技師 佐藤 正義
技師 権丈 和徳
再任用 灘谷 辰生
再任用 原 俊一

「世界遺産登録推進業務」

経営企画部 世界遺産登録推進室

室長 岩佐 芳弘
主任技師 岡 崇
主任主事 加地 俊博

2. 地域学芸員

地域学芸員は、平成 23 年度に実施した地域学芸員養成講座（初級）の修了者を対象に、役割として、

1. 館の展示解説
 2. 体験学習指導
 3. 歴史観光ツアー
 4. 地域資源調査
- などを行う。

平成 24 年度の地域学芸員は 41 人で、活動実績として、展示解説、体験学習を中心に実施。年間で延べ 2,300 人が活動した。市民ボランティアとして、一回の活動に対し 1,000 円の特別旅費を支払う。

なお、平成 25 年度は地域学芸員の第 2 期生を募集し、地域学芸員養成講座（初級）を実施した。

平成 25 年度 地域学芸員養成講座（初級）の実施（12 講座）

期間：平成 25 年 10 月 19 日～26 年 3 月 15 日
内容：文化財保護、世界遺産、地元学の演習
受講者：39 人が受講し、初級修了者は 34 人

(2) 郷土文化学習交流館協議会委員

宗像市郷土文化学習交流館条例にもとづき、教育関係者、学識経験者、市民代表で構成された委員が、館の運営に関し、必要な事項を審議する機関である。

1. 宗像市郷土文化学習交流館協議会委員

任期：平成24年9月1日から平成26年8月31日

2. 開催内容

第1回 宗像市郷土文化学習交流館協議会

期日：平成25年10月16日

会場：海の道むなかた館

報告：

- (1) 館内改修及び周辺整備工事について
- (2) 平成25年度宗像市郷土文化学習交流館事業について

議事：平成24年度宗像市郷土文化学習交流館事業報告（年報）について

郷土文化学習交流館協議会委員名簿

第2回 宗像市郷土文化学習交流館協議会

期日：平成26年3月12日

会場：海の道むなかた館

報告：

- (1) 海の道むなかた館周辺整備工事について
- (2) 平成25年度宗像市郷土文化学習交流館事業について

議事：

- (1) 平成26年度宗像市郷土文化学習交流館事業計画（案）について
 - ①特別展示について
 - ②賑わいづくりについて

	区 分	氏 名	役 職 等
1	学校教育及び社会教育 の関係者	菊川 律子	九州大学理事
2		鎌田 隆徳	宗像地区小学校社会科研究会副会長
3	家庭教育の向上に資する 活動を行う者	牟田 貴美子	自由ヶ丘コミュニティ運営協議会 青少年育成部会会長
4	学識経験者	亀井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
5		河窪 奈津子	宗像大社神宝館学芸員
6		藤本 幸男	東海大学福岡短期大学教授
7	市民代表	中野 一（～平成25年9月30日）	玄海地区コミュニティ運営協議会長
		花田 純一（平成25年10月1日～）	
8		園元 かをり	市民ボランティア （地域学芸員）

(3) 平成 25 年度決算（案）

海の道むなかた館予算（円）	展示活用事業費	管理運営費	整備事業費
総額	41,322,856	30,679,623	94,792,057
報酬	0	5,480,800	0
共済費	0	403,550	0
報償費	285,000	0	0
賃金	0	1,696,175	
旅費	2,510,640	32,000	0
需用費	5,282,377	10,616,729	0
役務費	646,174	646,845	100,000
委託料	28,502,268	8,793,330	3,463,000
使用料及び賃借料	174,900	1,164,294	0
工事請負費	0	1,493,360	91,229,057
備品購入費	3,921,497	338,340	0
負担金・補助及び交付金	0	0	0
公課費	0	14,200	0

(4) 郷土文化学習交流館建物概要

○所在地	福岡県宗像市深田 588
○階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上 3 階 地下 1 階
○敷地面積	11,082.02㎡
○用途地域	準都市計画区域内（平成 24 年 4 月 1 日現在）
○既存建物床面積	3,973.26㎡
○既存建物建築面積	2,934.38㎡
○既存建物竣工年	平成 4 年 3 月 31 日
○現建物床面積	3,901.42㎡
○現建築面積	2,978.85㎡

3. 展示

1) 常設展示

航海技術に優れ、活躍した宗像の人々。この宗像の人々が活躍した玄界灘の交易に着目し、「海の道」をテーマに宗像市における旧石器時代から現代までの通史を紹介する。

○展示物

【ヒトの来た道】

対象時代：旧石器～縄文時代

旧石器時代：池浦トボシ遺跡出土ナイフ形石器、田野瀬戸遺跡出土旧石器など

縄文時代：さつき松原出土曾畑式土器、鐘崎（上八）貝塚出土鐘崎式土器など



【稲作文化が渡った道】

対象時代：弥生時代

東郷登り立遺跡出土弥生土器、須恵クヒノ浦遺跡出土炭化米、光岡長尾遺跡出土石包丁をはじめ市内遺跡出土の磨製石斧など



【最先端技術が渡った道】

対象時代：古墳時代

三郎丸堂ノ上C遺跡未焼成須恵器、須恵須賀浦遺跡須恵器、久原瀧ヶ下遺跡出土板状鉄斧、朝町山ノ口遺跡出土鉄鉗・金槌など



【半島・大陸との交流の道】

対象時代：古墳時代

大井三倉遺跡出土蛇行状鉄器、田野瀬戸古墳出土杏葉、浦谷古墳出土杏葉、平等寺瀬戸古墳出土馬鈴、相原古墳出土新羅土器など



【拡大する海外交流の道】

対象時代：古代～中世

武丸大上げ遺跡出土鬼瓦、久原遺跡出土陶磁器など



【街道と海女の道】

対象時代：江戸～現代

江戸時代：黒田二十四騎久野家隊列図（市指定文化財）

現代：海女道具一式（県指定文化財）など

○刊行物

海の道むなかた館展示図録（A4版 総頁16 オールカラー）

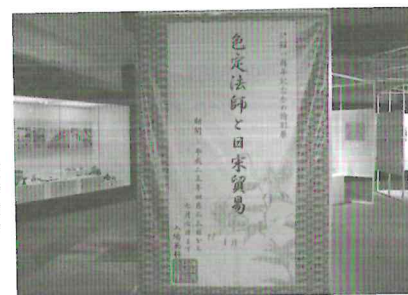


(2) 特別展示

ア. 春の特別展「色定法師と日宋貿易」

○内容

五千巻を超える経巻を一人で写経するという偉業をなしとげた宗像大社の社僧色定法師にスポットをあて、一筆一切経の達成を支えた日宋貿易と宋商人に注目し、中世宗像の活発な海外交易の様子を紹介した。



○期間

平成25年4月23日～7月7日

○展示物

宋船模型、一筆一切経断巻、色定法師坐像、博多遺跡群出土品、在自西ノ後遺跡（唐房跡）出土品



○刊行物

色定法師と日宋貿易（特別展示図録 A4版 総頁8 オールカラー）

イ. 秋の特別展「シルクロード ～オリエントの世界～」

○内容

宗像市では、「沖ノ島」の祭祀遺跡から「浮出切子碗」や田久瓜ヶ坂遺跡から地中海沿岸で作られた「金層・銀層丸玉」など貴重なガラス製品が発見されている。宗像の地にこれらの品々をもたらし「シルクロード」、その中でも、西洋と東洋を結んだオリエント地域に着目し、交易の様子を紹介するとともに宗像の人々の海外交易の様子を紹介した。

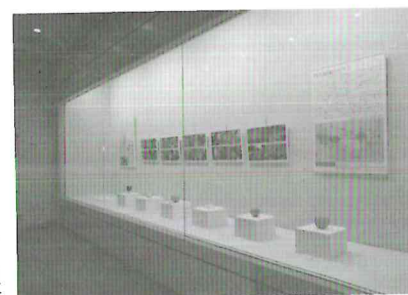


○期間

平成25年9月18日～11月24日

○展示物

ササン朝ペルシャカットグラス、リュトン、彩文土器、イスラム陶器、金製装身具、ガラス製ネックレス、金層ガラス玉、銀層ガラス玉、鴻臚館跡出土品、多々良込田遺跡出土品、遣唐使文物レプリカ



○刊行物

シルクロード ～オリエントの世界～

（特別展示図録 A4版 総頁36 オールカラー）



(3) 企画展示

ア.「クラシックカメラ」展

○内容

初期の写真機から戦前、戦中、戦後に作られた様々なカメラ、スパイカメラ、トイカメラ、初期のデジタルカメラまで約 500 点を福岡クラシックカメラ愛好会の協力により展示した。

○期間

第 1 部 「写真の初期から終戦まで～昔の写真機展～」

平成 25 年 10 月 9 日～ 11 月 8 日

第 2 部 「戦後からデジタルカメラの登場～なつかしのカメラ展～」

平成 25 年 11 月 13 日～ 12 月 13 日

第 3 部 「おもしろ・珍品カメラ展～スパイカメラ、立体写真機、etc～」

平成 25 年 12 月 18 日～平成 26 年 1 月 17 日

○展示場所

第 2 展示室

○展示物

ボックスカメラ、蛇腹カメラ、二眼レフカメラ、ステレオカメラ、一眼レフカメラ、スパイカメラ、軍用カメラ、珍品カメラ、おもちゃカメラ



イ.「日本の凧」展

○内容

正月にあわせ、日本各地の倭凧約 100 点を地域毎に展示した。(生野コレクション)

○期間

平成 25 年 12 月 25 日～平成 26 年 2 月 9 日

○展示場所

企画展示コーナー

○展示物

全国の珍しい凧を多数展示、中でも大きさが 10 畳にもおよぶ大凧は圧巻であった。



(4) 3D シアター

世界遺産登録構成資産候補の中で主となる沖ノ島は、通常、上陸できないため、3D映像で島の情景を実感し、価値を伝える。

○聖なる島沖ノ島 ―大陸と日本をつなぐ生命線―

上映時間：18分

約500年にもおよぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた約8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「宗像・沖ノ島と関連遺産群」をわかりやすく解説する。



○宗像大社の神事 ―人々の信仰と祈り―

上映時間：13分

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り広げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介する。



○沖ノ島の自然 ―太古の姿をそのままに―

上映時間：8分

沖ノ島全島は、1926年（大正15年）に国の天然記念物に指定された。現在も禁忌によって人の往来が制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの一夫繁殖地となっていることなどを紹介する。



○アニメ「海の民 宗像」

古代、高い航海技術を持っていた宗像の民が、対外交渉の水先案内人としてヤマト王権と関わりを深めていった歴史をアニメーションで紹介する（フィクション）。

第1話―玄界灘の守り神―（上映時間9分）

第2話―海人の都 ムナカタ―（上映時間7分）

第3話―ムナカタとヤマトをつないだ海人―（上映時間13分）

平成25年度3Dシアター入場者数一覧表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	2,061	2,094	1,178	1,386	1,206	1,478	1,401	1,125	525	1,646	1,025	953	16,078

(5) 写真パネル展

ア. 市内山笠パネル展

○期間

平成 25 年 7 月 17 日～ 7 月 21 日

○展示場所

ホール

○展示内容

市内の伝統行事である大島、地島、鐘崎、田熊の 4 山笠を写真パネルで紹介した。また、東郷小学校児童が作成した絵や「田熊山笠パンフレット」の展示もおこなった。



イ. コスモス会写真クラブ写真展

○期間

平成 25 年 10 月 9 日～ 11 月 8 日

○展示場所

渡廊下

○展示内容

市内の障害者支援施設「コスモス会」に所属している人が、福岡クラシックカメラ愛好会会長松井弘治氏の指導のもと撮影した写真を展示した。



ウ. 「北斗の水汲み」写真展

○期間

平成 25 年 12 月 18 日～平成 26 年 1 月 17 日

○展示場所

渡廊下

○展示内容

水平線上に沈む北斗七星が柄杓で水を汲む様子に似て、世界的にも珍しい天体現象である「北斗の水汲み」の写真を公募し、入選作品を展示した。



エ. 福岡県小学児童画展宗像地区入選作品展示

○期間

平成 26 年 1 月 7 日～ 1 月 19 日

○展示場所

体験学習室

○展示内容

福岡県小学児童画展宗像地区入選作品を展示した。



オ. 宗像市・レッキョエミリア市（イタリア）交流児童画展

○期間

平成 26 年 1 月 21 日～ 1 月 31 日

○展示場所

体験学習室

○展示内容

赤間小学校、自由ヶ丘南小学校、玄海小学校、リバルタ小学校交流事業の一環として、それぞれの小学校の児童が描いた絵を展示した。



4. 体験学習

毎週末および祝日、出張講座、イベント等で実施。

(1) 古代体験学習

○内容

ア. まが玉づくり

まが玉の素材として沖ノ島祭祀遺跡等でも出土している滑石を使用し、紙やすりで研磨を行い製作する。

イ. 火おこし

舞hiri、火きり臼、モグサ、麻の繊維を使用し、舞hiri式の火おこし体験を行う。

ウ. 土笛づくり・土器づくり

光岡長尾遺跡出土の土笛をモデルにオープン陶土を使用し、土笛を製作する。

上八（鐘崎）貝塚出土の鐘崎式土器をモデルにオープン陶土を使用し、土器を製作する。

エ. 古銭鑄造

三郎丸今井城出土の皇朝銭から型を作成し、低熔解金属を使用し、古銭鑄造を体験する。

○実績

体験学習参加者数 ※有料（100 円 / 大きなまが玉 300 円）

（人）

	まが玉づくり	火おこし	土笛づくり	古銭鑄造	合 計
4月	17	66	0	4	87
5月	40	24	10	18	92
6月	40	0	38	4	82
7月	115	0	58	9	182
8月	416	25	34	5	480
9月	125	2	5	6	138
10月	17	3	4	3	27
11月	118	0	5	25	148
12月	7	0	7	0	14
1月	9	1	19	9	38
2月	(まが玉大4)13	0	4	8	29
3月	58	5	36	7	106
合 計	979	126	220	98	1423

(2) 特別体験学習

○内容

ア. 一周年記念バックヤードツアー 参加費：無料

平成 25 年 4 月 27 ～ 29 日

土器復元室や埋蔵文化財整理室を職員のガイド付で見学した。

イ. 水鉄砲バトル 参加費：200 円（材料代）

平成 25 年 7 月 20・21 日

昔ながらの竹製の水鉄砲を作り、むなかた館裏の芝生広場で 2 チームに分かれて対決をした。



ウ. My うちわづくり 参加費：無料

平成 25 年 7 月 20・21 日

うちわの骨組みにオリジナルのイラストを描いたり、市内各山笠の写真を印刷したものを、貼付け自分だけのうちわの作成を行った。



エ. トヨタ自動車九州モノづくり教室「ホバークラフト作り」

参加費：無料 平成 25 年 8 月 3・4 日

トヨタ自動車九州モノづくり教室と協働で開催した。本年度は、空気力で浮き、進むホバークラフトを作って、その仕組みや原理を学んだ。また、子どもも乗れる大きなホバークラフトの乗車体験も実施した。



オ. ロボット工作「メカカメⅢ」 参加費：2,500 円（材料費）

平成 25 年 8 月 11 日

宗像高等学校電気物理部部員と協働で開催した。手をたたく音などに反応して動く、音センサ内蔵ロボットを作製した。



カ. ロボット工作「びっくり貯金箱づくり」

参加費：1,000 円（材料費） 平成 25 年 8 月 24 日

宗像高等学校電気物理部部員と協働で開催した。牛乳パックと録音・再生装置などを使って「貯金箱」を作製した。



キ. 博物館クイズ 参加費：無料

夏休み期間中随時

館内を巡り、展示物や展示パネルから答えを見つけ回答するクイズラリーを実施した。全問正解者には、オリジナルストラップを進呈した。

○合 計（特別体験学習の参加人数）

（人）

日付	4/27～29	7/20・21	7/20・21	8/3・4	8/11	8/24	
メニュー	バックヤード ツアー	水鉄砲バトル	うちわづくり	ホバークラフト づくり	メカカメⅢ	びっくり貯金箱 づくり	合計
人数	16	39	298	166	33	18	570

5. 講座

(1) 館長講座

海の道むなかた館において、西谷正館長による講座を毎月1回開催した。今から約千七百年前に大陸と交流していた「邪馬台国」を、魏の都である洛陽から出発し、『三国志 魏志倭人伝』に記された国々をたどりながら、邪馬台国まで至る道を考古学的成果をふまえ、解りやすく解説した。

- テー マ：邪馬台国への道
- 回 数：13回（うち番外編1回）
- 会 場：海の道むなかた館 講義室
- 時 間：13時30分から15時30分
- 受 講 料：無料
- 定 員：各回80名
- 受講者数：計1,314名



回数	月 日	内 容
第1回	4月14日(日)	邪馬台国登場 ー魏志倭人伝の世界ー
第2回	5月12日(日)	魏の洛陽城と帯方郡
第3回	6月 9 日(日)	韓国と狗邪韓国
第4回	7月14日(日)	対馬国
第5回	8月11日(日)	一支国
第6回	9月 8 日(日)	末盧国
第7回	10月13日(日)	伊都国
第8回	11月 3 日(日)	奴国
第9回	12月 8 日(日)	不弥国
第10回	1月12日(日)	投馬国
第11回	2月 9 日(日)	邪馬台国 ー九州説ー
第12回	3月 9 日(日)	邪馬台国 ー近畿説ー
番外編	3月21日(金)	倭の国々 ー狗奴国・侏儒国・「宗像国」ー

(2) 海の道むなかた館 開館一周年記念講演

春の特別展「色定法師と日宋貿易」に合わせ講演を行った。

平成 25 年 4 月 28 日（日） 受講者：97 名

演題：「宗像氏貞とその時代」 講師：吉永正春（九州戦国史研究家）

平成 25 年 4 月 29 日（月） 受講者：81 名

演題：「色定法師の偉業と日宋貿易」 講師：西谷正館長

(3) 宗像市合併十周年記念 秋の特別展記念講演

秋の特別展「シルクロード～オリエントの世界～」に合わせ講演を行った。

平成 25 年 9 月 22 日（日） 受講者：76 名

演題：「仏教東漸の道」 講師：西谷正館長

平成 25 年 10 月 26 日（土） 受講者：46 名

演題：「日本における西方地域のガラス玉」 講師：田村朋美（奈良文化財研究所研究員）

平成 25 年 11 月 10 日（日） 受講者：59 名

演題：「シルクロードとガラスの来た道」 講師：谷一尚（林原美術館長）

(4) 地域学芸員養成講座（初級）

市内在住者から第 2 期生となる地域学芸員を公募し、地域学芸員養成講座（初級）を行った。

○ 回 数：12 回

○ 受 講 料：無料

○ 申 込：39 名

月日	時間	内 容
10月19日	10:00～12:00	開講式、「むなかたの歴史」（講師：西谷 正 館長）
11月2日	13:30～15:00	「文化財とは（市内の文化財について）」（講師：安部 裕久）
11月16日	13:30～15:00	「むなかたの縄文・弥生時代」（講師：白木 英敏）
12月7日	13:30～15:00	「体験学習講座」（講師：坂本雄介）
12月21日	13:30～15:00	「むなかたの古墳時代」（講師：原 俊一）
1月11日	13:30～15:00	「「宗像・沖ノ島と関連遺産群」について」（講師：岡 崇）
1月25日	13:30～15:00	「宗像の中世」（講師：桑田 和明）
1月25日	15:10～16:40	「宗像の近世」（講師：安部裕久・判田博明）
2月1日	13:30～15:00	「体験学習講座」（講師：坂本雄介）
2月15日	13:30～15:00	「鐘崎海女と玄界灘の漁撈民俗」（講師：楠本 正 氏）
3月1日・2日	9:00～17:00	岬地区地元学研修（講師：前田秀敏）
3月15日	13:30～16:00	「大陸との交流について」（講師：西谷 正 館長）、閉講式

(5) 西谷館長ギャラリートーク

(平成26年1月1日～1月3日)

正月イベントにあわせて、西谷正館長による展示解説と質疑応答形式によるギャラリートークを行った。

1月1日 14:00～14:40

「海女のルーツ」

1月2日 14:00～14:40

「相島の積石塚」

1月3日 14:00～14:40

「船原古墳の埋納坑」



6. 団体入館

(1) 旅行会社によるツアー

日にち			旅行会社/ツアー名称	人数
4月	4月6日	土	阪急交通社大阪 春のびっくり九州2日間	92
	4月7日	日	阪急交通社大阪 春のびっくり九州2日間	44
	4月12日	金	阪急交通社大阪 春のびっくり九州2日間	35
	4月13日	土	阪急交通社大阪 春のびっくり九州2日間	29
	4月13日	土	長崎バス観光 あじさいツアー身延山	75
	4月27日	土	読売旅行長崎 むなかた2大花寺めぐりと海の道むなかた館	26
	4月28日	日	読売旅行長崎 むなかた2大花寺めぐりと海の道むなかた館	43
	4月29日	月・祝	読売旅行長崎 むなかた2大花寺めぐりと海の道むなかた館	43
5月	5月3日	金・祝	読売旅行佐賀 九州・春の花紀行ミステリー	48
	5月5日	日	読売旅行広島 北部九州花の寺めぐり写真部	27
	5月29日	水	阪急交通社大阪 鶴屋カーネーションツアー	25
6月	6月1日	土	鶴屋トラベル 鶴屋カーネーションツアー	17
	6月8日	土	鶴屋トラベル 鶴屋カーネーションツアー	31
	6月9日	日	鶴屋トラベル 鶴屋カーネーションツアー	30
8月	8月24日	土	第一観光 名勝さつき松原ウォーキング	111
	8月29日	木	HI JAPAN 韓国ナムジンツアー	134
9月	9月23日	月・祝	読売旅行ブルガリアフェスティバル	796
10月	10月1日	火	クラブツーリズム東京 「みあれ祭と宗像3日間」	13
	10月1日	火	読売旅行久留米	44
	10月6日	日	読売旅行	66
	10月8日	火	クラブツーリズム関西	16
1月	1月18日	土	阪急交通社福岡 新春3社初詣バスツアー	251
	1月19日	日	阪急交通社福岡 新春3社初詣バスツアー	244
	1月19日	日	九州産交バス天然ふく御前と宗像大社	25
	1月21日	火	阪急交通社福岡 新春3社初詣バスツアー	208
	1月22日	水	JTB旅物語中国四国 新春福ふく開運祈願ツアー	28
	1月30日	木	阪急交通社福岡 新春3社初詣バスツアー	160
2月	2月1日	土	第一観光 宗像・地島椿ロードウォーキング	77
	2月2日	日	第一観光 宗像・地島椿ロードウォーキング	23
	2月4日	火	JTB旅物語中国四国 新春福ふく開運祈願ツアー	40
	2月9日	日	九州産交バス天然ふく御前と宗像大社	44
	2月9日	日	クラブツーリズム関西 天然トラフグ壱岐産マグロなど旬を食す!3日間	19
	2月14日	金	長崎バス観光 自然食レストラン茅乃舎と宗像鎮国寺の一本梅	24
	2月22日	土	九州産交バス天然ふく御前と宗像大社	20
	2月25日	火	JTB旅物語中国四国 新春福ふく開運祈願ツアー	24
	2月25日	火	長崎バス観光 自然食レストラン茅乃舎と宗像鎮国寺の一本梅	13
ツアー来館者合計				2945

(2) 特別展に伴う周辺ツアー

春の特別展の展示物に縁のある場所への宗像歴史観光ウォーキングツアー

月	日	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	合計
		AM:興聖寺	AM:鎮国寺	PM:興聖寺	PM:鎮国寺	
4月	27(土)	7	1	3	0	11
	28(日)	6	0	2	0	8
	29(月祝)	5	2	1	0	8
5月	1日(水)	3	0	0	0	3
	2日(木)	7	0	0	2	9
	3日(金)	6	2	2	0	10
	4日(土)	1	0	0	2	3
	5日(日)	1	1	1	3	6
	6日(月祝)	1	0	0	0	1
合計		37	6	9	7	59

※ 30日は休館日のためガイドツアーなし

秋の特別展に伴い、道の駅むなかたと連携した宗像歴史観光ウォーキングツアー

○期 間 平成 25 年 10 月 5・6 日

○参加者 14 名

(3) 世界遺産登録推進活動に伴うルックルック講座及びバスツアー

○回数 年間 17 回 ○参加者 296 人

	日付	講座タイトル	申込者	人数
1	4月15日	ルックルック講座 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の内容について	むなかた歴史を学ぼう会	25
2	6月24日	ルックルック講座 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の内容について	宗像市老人クラブ連合会	21
3	6月25日	ルックルック講座 宗像・沖ノ島と関連遺産群を体感しよう！	在宅介護家族の会 ひまわり	24
4	9月2日	九大オーセンシティの会合	世界遺産イコモス専門家	18
5	9月6日	日本イコモス委員(沖ノ島)		
6	9月7日	日本イコモス委員会	イコモス 国内委員会	24
7	9月7日	ガイドツアー	一般の方	20
8	9月8日	ガイドツアー	一般の方	20
9	9月26日	ルックルック講座 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の内容について	河東西小学校(地域委員会)	12
10	9月30日	神迎え灯籠ウォーキング		10
11	10月19日	ルックルック講座 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の内容について	赤間地区コミュニティ運営協議会 公民館活動部会	16
12	10月29日	ルックルック講座 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の内容について	東郷村老人会	24
13	10月30日	ルックルック講座 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の内容について	河東老人クラブ	21
14	10月31日	ルックルック講座 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の内容について	三倉老人福祉会	17
15	11月26日	ルックルック講座 世界遺産とまちづくり	むなかた男女共同参画協議会	17
16	3月1日	親子バス見学	一般の方	11
17	3月2日	親子バス見学	一般の方	16
合計				296

7. 各種イベント

- (1) 開館一周年記念事業（平成 25 年 4 月 27 日～4 月 29 日）
正面玄関前において、記念セレモニーを実施。市内中学校の吹奏楽部の演奏や、バルーンリリース、餅つきなどを行ったほか、火おこしコンテストや郷土料理の振舞い、西谷正館長、戦国歴史研究家吉永正春氏による記念講演なども開催した。

（入館者数：5,399 人）



- (2) 田熊石畑遺跡歴史公園プレオープン（平成 25 年 6 月 8 日）
平成 27 年度グランドオープン予定の歴史公園をプレオープンした。整備方針の柱である市民による手づくり整備元年として芝ポット苗 1 万 2 千個を 2 千㎡の広場に植え付けた。

（参加者数：880 人）



- (3) むなかたみんなの山笠（平成 25 年 7 月 21 日）
平成 25 年 7 月 17 日から 7 月 21 日の 5 日間、新市制 10 周年を記念して、旧宗像市、旧玄海町、旧大島村において継承されている四山笠を本館前駐車場に集合展示を行うとともに、宗像大社での昇き山を行った。

（入館者数：1,121 人）



- (4) 夏休み特別事業（夏休み期間中）
本館クイズラリー、トヨタ自動車九州モノづくり教室、ロボット工作講座などを行った。



- (5) 宗像大社みあれ祭前夜祭（平成 25 年 9 月 30 日）
新市制 10 周年を記念して、北斗の水くみ海浜公園を会場に、花火大会（参加者約 6,000 人）、海の道むなかた館周辺での灯籠設置などを行った。

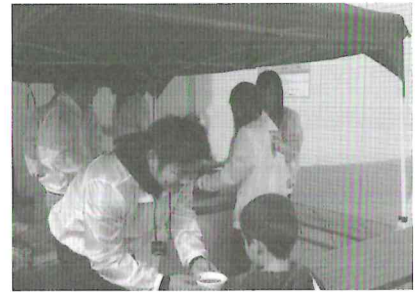
- (6) 道の駅むなかた 4 9 5 まつり参加
（平成 25 年 10 月 5 日～10 月 6 日）
宗像歴史観光ウォーキングツアー（道の駅むなかた→海の道むなかた館→宗像大社神宝館→道の駅むなかた）を行った。
（参加者：14 人）



- (7) 宗像文化サークル コラボ講座（平成 25 年 10 月 25 日）
「宗像歴史文化トークショー」を開催した。
- (8) 福岡県立少年自然の家「玄海の家」玄海わくわくフェスタ参加
（平成 25 年 11 月 23 日）
出張まが玉づくりを行った。

- (9) 正月イベント（平成 25 年 1 月 1 日～同年 1 月 3 日）
正月の遊び体験、「郷土料理（だぶ）」・「ぜんざい」振舞、
獅子舞などを行った。

（入館者数：5,167 人）



(10) ミュージアムコンサート

館への集客と文化振興のため、2 ヶ月に 1 回、宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招きコンサートを開催した。

Vol.5 ～5 月の風に乗せて～ ソプラノ & 影絵

（平成 25 年 5 月 17 日）

出演者：重住千寿香（ソプラノ）、安藤恵子（ピアノ）
有持正信（影絵作家）

参加者：約 150 名



Vol.6 星空コンサート（平成 25 年 7 月 19 日）

出演者：岡垣コールハーモニー、コッラ プリマベラ（合唱団）

参加者：約 120 名



Vol.7 野外劇「姫神の宝物」（平成 25 年 9 月 15 日）

出演者：宗像少年少女劇団、劇団宮若レインボーカンパニー、
リズムミックダンス教室

参加者：約 250 名



Vol.8 ～秋の夜長のジャズナイト～ ピアノ & ハーモニカ

（平成 25 年 11 月 15 日）

出演者：岩崎大輔（ピアノ）、矢次保子（ハーモニカ）

参加者：約 250 名



Vol.9 ～新春邦楽の調べ～ 尺八&箏

(平成 26 年 1 月 17 日)

出演者：矢野径山（尺八）、角南芙美子（箏）

参加者：約 250 名



Vol.10 ～若手演奏家による室内楽～

うみがめ室内管弦打屋 (平成 26 年 3 月 21 日)

出演者：福留愛（ヴァイオリン）、生野宏美（ピアノ）、池

田祐介（ファゴット）、桑畑泰（チェロ）

参加者：約 250 名



(11) 宗像ユリックスアウトリーチコンサート

宗像ユリックスとの連携事業の一環として、海の道むなかた館内においてミニコンサートを開催した。

第 1 回目

溝口 肇ミニコンサート

(平成 25 年 4 月 6 日)

出演者：溝口肇（チェロ）

演奏曲目：

参加者：約 200 名



第 2 回目

九州交響楽団弦楽四重奏

(平成 25 年 8 月 24 日)

出演者：大山佳織・佐藤仁美（ヴァイオリン）、黒川律子（ヴィ
オラ）、宮田浩久（チェロ）

演奏曲目：アイネ・クライネ・ナハトムジーク（モーツァルト）
花は咲く（復興支援ソング）

参加者：約 180 名



8. 利用状況

(1) 月別入館者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
入館者数	10,677	9,483	6,854	9,167	3,995	10,552	12,598	10,556	7,624
累計入館者数	113,334	122,817	129,671	138,838	142,833	153,385	165,983	176,539	184,163
	1月	2月	3月	合計					
	16,310	9,330	10,464	117,610					
	200,473	209,803	220,267	220,267					

(2) 学校団体入館者数

ア. 市内小学校

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	(人)
吉武小								
赤間小						162	162	
河東小								
南郷小						38	38	
東郷小			81			82	163	
日の里東小				53		54	107	
日の里西小						68	68	
自由ヶ丘小						93	93	
赤間西小			76				76	
自由ヶ丘南小						83	83	
河東西小								
玄海小								
玄海東小		18	18				36	
地島小					8		8	
大島小					9		9	
合計							843	

イ. 市内中学校

玄海中学校 1年生 44名

9. 参考資料

(1) 宗像市郷土文化学習交流館条例

平成23年12月28日
条例第23号

(設置)

第1条 地域の文化的資源である歴史、民俗、自然等に関する資料（以下「資料」という。）を収集し、保管し、調査研究の成果を集積し、及び展示してその教育的活用を図り、もって市民の教育、学術及び文化の振興に寄与するため、宗像市郷土文化学習交流館（以下「交流館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 交流館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
宗像市郷土文化学習交流館	宗像市深田

(事業)

第3条 交流館は、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 交流館の事業の企画及び実施に関すること。
- (2) 資料の貸出し等に関すること。
- (3) 学校、地域等が実施する教育的活動との連携に関すること。
- (4) 世界遺産登録推進活動に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、交流館の設置の目的達成に必要な事業に関すること。

(職員)

第4条 交流館に館長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第5条 宗像市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、次の各号のいずれかに該当するときは、交流館の入館を拒み、又は交流館からの退去を命ずることができる。

- (1) 管理運営上の指示又は指導に従わないとき。
- (2) その他管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第6条 交流館に入館した者が、その責めに帰すべき事由により、施設、附属設備、展示品若しくは資料を破損し、滅失し、又は汚損したときは、これを現状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(協議会)

第7条 交流館の運営に関し必要な事項を審議するため、宗像市郷土文化学習交流館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、8人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験者
- (4) 市民代表

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成24年4月28日から施行する。

(2) 宗像市郷土文化学習交流館条例施行規則

平成24年1月12日

教育委員会規則第2号

改正 平成25年1月22日教委規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、宗像市郷土文化学習交流館条例（平成23年宗像市条例第23号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 宗像市郷土文化学習交流館（以下「交流館」という。）の開館時間は、午前9時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、宗像市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に開館することができる。

(休館日)

第3条 交流館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日にあたるときは、その翌日

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(遵守事項)

第4条 交流館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 館内で喫煙をし、又は火気を使用しないこと。

(2) 定められた場所以外での飲食をしないこと。

(3) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 前各号に定めるもののほか、交流館の管理及び運営に必要な指示に反する行為をしないこと。

(資料の貸出し)

第5条 教育、学術又は文化に関する団体等であつて、資料の貸出しを受けようとするものは、宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

3 資料の貸出しを受けた者は、教育委員会の指示に従い当該資料を管理するとともに、それを転貸してはならない。

(資料の撮影等)

第6条 資料の撮影、拓本、模写、模造、複製、実測図作製等をしようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

(寄贈又は寄託)

第7条 交流館は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 交流館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書（様式第3号）により教育委員会に申し込まなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申込みがあったときは、その可否を決定し、申込者に通知するものとする。

4 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に通知するものとする。

(寄贈等資料の取扱い)

第8条 寄贈又は寄託を受けた資料の取扱いは、特別の定めがあるものを除き、交流館が管理する一般の資料と同じ取扱いとする。

- 2 寄託を受けた資料が、天災地変その他不可抗力により破損し、滅失し、又は汚損した場合は、教育委員会はその賠償の責めを負わない。
- 3 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、寄託を受けた資料を返還することができる。
 - (1) 寄託期間が満了したとき。
 - (2) 寄託者から返還の請求があったとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認めたとき。

(協議会)

第9条 条例第7条に規定する宗像市郷土文化学習交流館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置くこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。
- 5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。
- 6 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会の庶務は、市民協働・環境部郷土文化交流課において処理する。
- 8 前各号に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(平25教委規則1・一部改正)

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成24年4月28日から施行する。

附 則（平成25年1月22日教委規則第1号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書

宗像市教育委員会 あて

	住所	
申請者	氏名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、貸出しを受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 貸出しを受けようとする目的

3 貸出しを受けようとする期間

年 月 日（ 曜日）から
年 月 日（ 曜日）まで

4 損害賠償等について

（1）資料は、借用期間中は教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。

（2）資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書

宗像市教育委員会 へ

	住所	
申請者	氏名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、撮影等を行いたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 撮影等の目的

3 撮影等の期間

年	月	日（	曜日）から
年	月	日（	曜日）まで

4 損害賠償等について

- （1）資料の撮影等を行うときは、教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。
- （2）資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書

宗像市教育委員会 あて

	住所	
申請者	氏名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館における調査研究及び展示の用に供する資料として（寄贈・寄託）したいので、下記のとおり申し込みます。

記

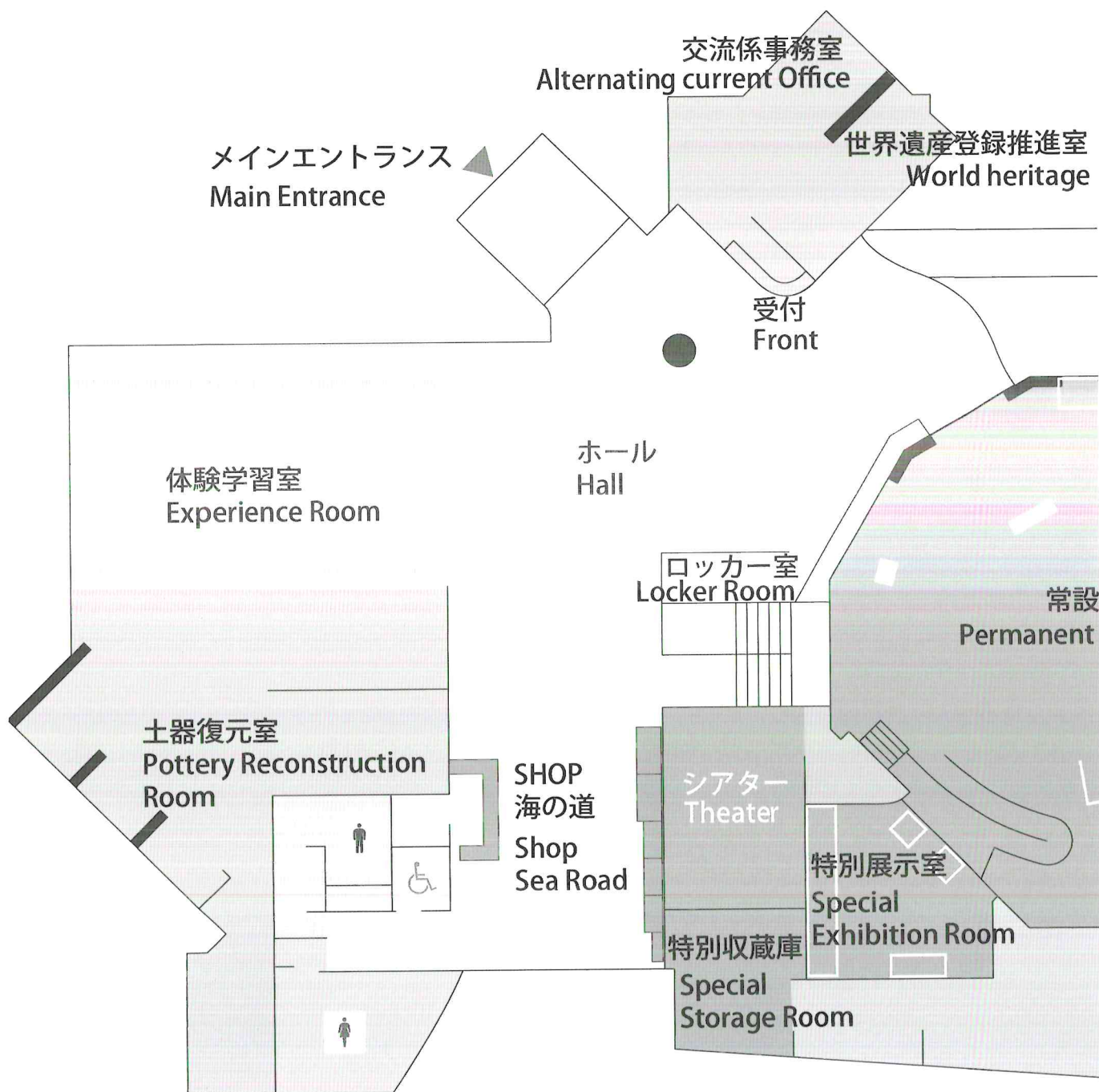
1 資料の名称及び員数

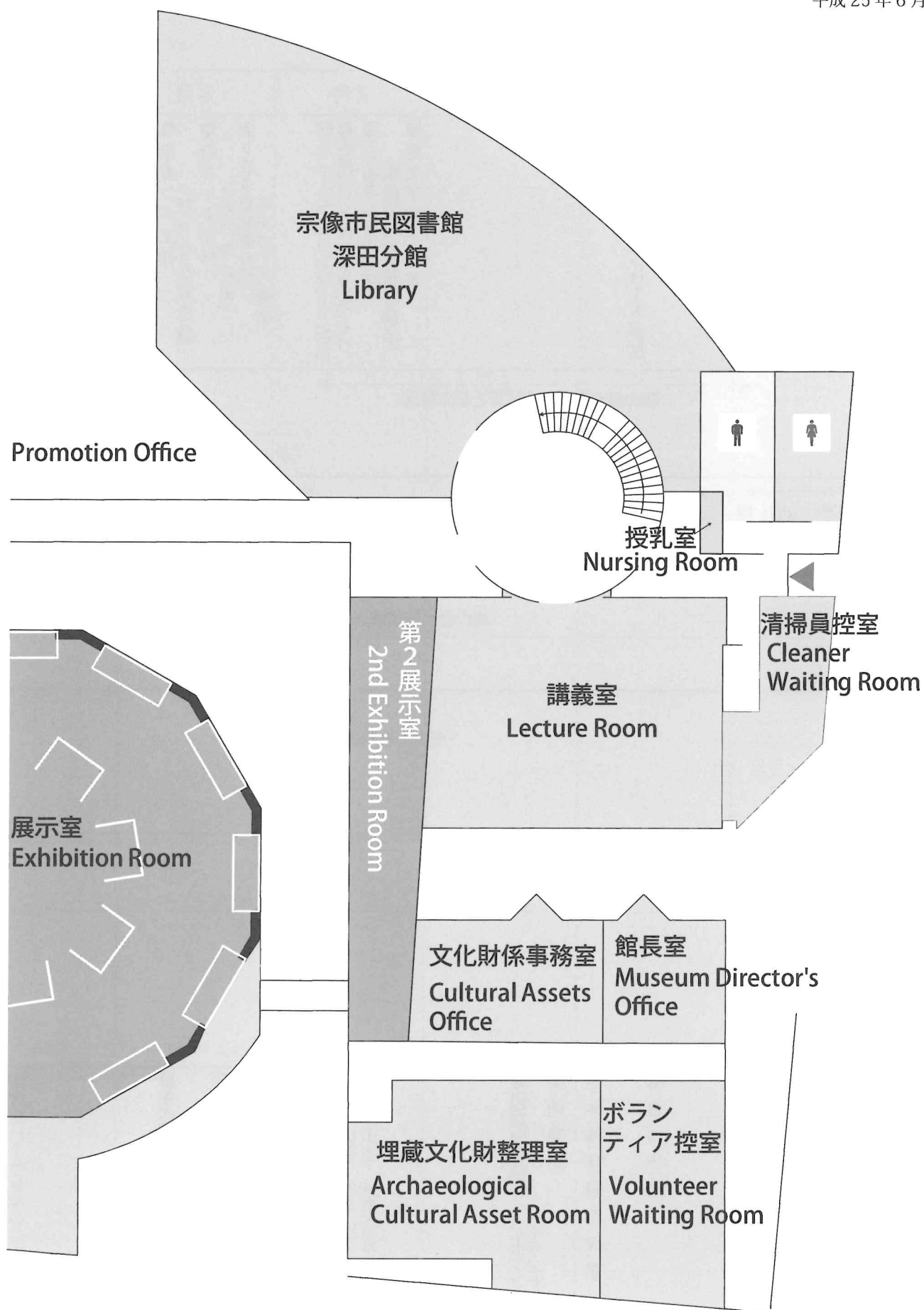
2 寄贈・寄託の別

寄贈 ・ 寄託

3 特記事項（条件）等

館内案内図





		4月	5月	6月	7月	8月	9月
海の道むなかた館催事		●宗像ユリックスアウトレイチコンサート ●開館一周年記念イベント	●ミュージアムコンサートVol.5		●ミュージアムコンサートVol.9 ●水鉄砲バトル・うちわづくり ●「宗像みんなの山笠」(宗像市内山笠集合展示) ●皇太子殿下行啓	●宗像ユリックスアウトレイチコンサート ●ロボット工作(びっくり貯金箱) ●ロボット工作(メカカメⅢ) ●トヨタ自動車九州モノづくり教室	●ミュージアムコンサートVol.7(特別編 野外劇「姫神の宝物」)
施設展示	特別展示	春の特別展「色定法師と日宋貿易」					←
	企画展示	←「玄界灘の漁撈」展				「沖ノ島祭祀前夜」田熊石畑遺跡展	→
	常設展示	←		「海の道」宗像市通史展示			
	写真・パネル展示				「市内山笠パネル」展		
各種講座		春の特別展記念講座					
宗像大社・鎮国寺 その他行事		●春季大祭 ●花祭り ●中村研一展(宗像ユリックス) ●護摩焚き法要	●さつき祭	●沖津宮現地大祭 ●漁師祭 ●田熊石畑遺跡プレオープンイベント	●田熊山笠、鐘崎山笠 ●地島山笠、大島山笠	●大島七夕まつり ●中村研一展(宗像ユリックス)	●大島ハーフマラソン

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●宗像大社みあれ祭前夜祭 (花火大会・灯籠設置) ●みあれ祭陸上神幸 ●クラシックカメラ展 トークショー ●日光写真撮影会	●ミュージアムコンサート Vol.8 ●ピンホールカメラ作製・撮影	●ピンホールカメラ現像 (九州産業大学現像室)	●正月イベント ●ミュージアムコンサート Vol.9		●ミュージアムコンサート Vol.10
	秋の特別展「シルクロード～オリエントの世界～」					
	「沖ノ島祭祀前夜」田熊石畑遺跡展					
	「玄界灘の漁撈」展					
	「日本の風」展					
	「玄界灘の漁撈」展					
	「クラシックカメラ」展					
	「海の道」宗像市通史展示					
	「コスモス会写真クラブ写真展」					
	「北斗の水汲み写真展」					
	宗像市・レッジョエミリア市（イタリア）交流児童画展					
	「福岡県小学児童画展宗像地区入選作品」展					
	館長講座「邪馬台国と古代のムナカタ」（4月～3月 / 月1回＋特別編1回）					
	地域学芸員養成講座（初級）（全12回）					
	●宗像ミアーレ音楽祭 ●道の駅むなかた495まつり ●みあれ祭 ●みあれ祭前夜祭	●西日本菊花大会 ●宗像市民スポーツフェスタ （宗高） ●西日本実業団女子駅伝	●玄海わくわくチャレンジ フェスタ ●古式祭	●新年祭	●節分祭	



海の道むなかた館年報Ⅱ 平成 25 年度の報告
～郷土文化学習交流館年報～

発 行：2014 年 8 月 25 日

発行者：海の道むなかた館

(郷土文化学習交流館 宗像市教育委員会)

(TEL) 0940-62-2600 (FAX) 0940-62-2601

印 刷：インプレッション株式会社